



れいわの会 森本 隆

## GREETING ごあいさつ

新型コロナウイルスの第三波の感染拡大により、大変な状況ですが、行政と議会が一体となり行政が全力で対策できるように日々進めております。

今回は、デジタル化、公共施設管理計画の課題について、一般質問いたしました。

現在、消防署の新庁舎建設、再配置が検討されています。地元説明会が11月にありましたが、地元、兜台、相楽台への影響について、独自調査結果を報告させていただきます。

### 議員研修報告

#### 新学校給食センター視察(10月)

今年4月に総工費23億円をかけた、1日7000食対応の第一学校給食センターの中学生向け給食を試食(約700kcal)させて頂きました。大変美味しく感じました。



### 自己研修報告

#### JIAM(全国市町村国際文化研修所)

JIAM(全国市町村国際文化研修所)の議員研修(10月)に行ってきました。2つのセミナー『東日本大震災から学んだこと』『デジタルが社会・地方を変える』を受講して、市政に対しての新しい切り口を勉強しました。



## 消防本部新庁舎建設基本構想・出張所の再配置を考える

### 現状の課題

- ①本部庁舎が浸水想定地域(3m以上)に立地・建物も老朽化し(建築後46年以上)、災害危険性が高い。
- ②現在の木津西出張所の5名人員体制では、同時出動(救急車+消防車、2台の救急車等)に対応できない。

### 基本構想案

- ①新庁舎を城山台に建設し、本部を災害リスクが少ない高台に移転する。
- ②木津西、山城両出張所を新庁舎に統合し、職員車両等を集約配置して総合力を発揮できるようにする。

## 再配置後の救急車到達時間検討

兜台、相楽台の救急出動態勢は、現在下記の優先順位で対応している。

- ①木津西出張所配備の救急車を出動。
- ②木津西救急車が不在のときは、本部より救急車を出動させる。
- ③木津西、本部が不在の時は、山城出張所より救急車を出動させる。

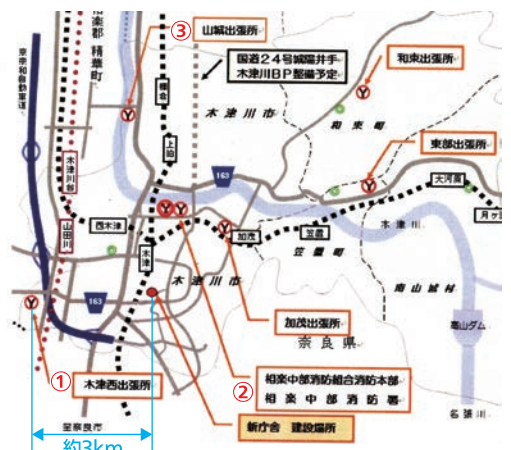
再配置後は、すべて新庁舎より救急車(3台を想定)を出動させる予定。2019年の実績、兜台172件、相楽台206件、到達時間は下記の通り。

(注)再配置後の到達時間は木津西出張所から新庁舎まで約3kmのため、3分の遅延と見積もった。(時速60km)現状実績データは消防本部より入手。

地域別到着時間		①木津西出張所から出動	②現本部から出動	③山城出張所から出動	平均	最大
現状実績	兜台	5.9分	11.8分	15.3分	6.6分	15.3分
	相楽台	5.9分	10.6分	13.0分	6.4分	13.0分
再配置後(想定時間)	出動条件	①②③共に、新庁舎より出動				
	兜台	8.9分				
	相楽台	8.9分				

### 検討結果

再配置後、到着時間の平均値が約2分強(6.5分→8.9分)遅くなるが、到着時間の最大値は約6分短縮(15.3分→8.9分)が見込める。



### 私の考え

- ①高齢化が進展する中、救急車出動回数は増加傾向。同時出動回数も増加する。
- ②石油ストーブ減、オール電化増加の中、火災等は減り消防車出動回数は減少する。

再配置を実施して、救急出動優先の安定した救急体制がとれる運営をすべき。

12月議会での質問 (一般質問)

質問 1 デジタル・トランスフォーメーション(DX)事業の進捗は

国の新型コロナウイルス対策、地方創生臨時交付金3兆円の市の取り組み、総額約10億円の予算、休業・子育て支援に4.7億円(46%)、きづがわエール商品券に4.3億円、デジタル投資に1.2億円を計上した。

Q 森本隆 予算の12%を占めるデジタル投資(約1.2億円)の進捗は。

A 政策監 テレワーク環境構築事業は年度内に完了見込み、キャッシュレス決済導入事業については年度内に一部スタートを目指している。

A 教育部長 学習用タブレット600台は配備済、来年2月末までに1人1台の整備を完了する。Webカメラとマイク付きハンドセットについては、各校必要数を全18校に整備予定。

Q 森本隆 オンライン授業の整備状況は。

A 教育部理事 双方向型通信の導入技術支援については、1月から3月の期間、木津川市小・中学校専用のヘルプデスクを設置して現場を支援する。

タブレット購入に合わせて、貸出用モバイルWiFiルーターを購入済。日常の授業において、GIGAスクール本来の目的の通り、1人1台端末を活用して情報活用能力の育成と遠隔授業に慣れる取り組みを進めていく。

Q 森本隆 7月に補正予算5号で予算化した、「ICT教育環境支援事業…1120万円」の進捗はどうか。

5月に実施したオンライン授業で課題となっている技術的なサポートを外部業者の力を借りてステップアップする事業である。私の知見では、技術的なサポートは2名で約6カ月できる事業だと理解しているが。

A 教育部長 オンライン環境をどのように

構築していくかの業務支援を受ける予定だったが、市では事業者がみつからず、国の紹介で、GIGAスクール構築のヘルプデスクを設置して、現場支援を進めていく。

Q 森本隆 前回、オンライン授業を試行したのが5月半ばだったので、半年間あったのに、外部人材が活用できていない。そうすると、内部で人材育成をするしかないがどう考えるのか。

A 教育部長 市で情報教育研修会を立ち上げて、校長、教頭、教務主任中心に4名、小学校から3名、中学校から2名の合計9名で、デジタル技術にたけた人材で計画を練っていく予定。

Q 森本隆 9月議会で提案させて頂いたデジタル図書館の進捗は。近隣では生駒市が電子図書館を10月からスタートしている。

A 教育部長 奈良市も10月から奈良市電子図書館をスタートしている。奈良市と共同で運営できるように準備を開始している。

Q 森本隆 国のデジタル庁新設にあわせて、市ではCIO補佐官を募集しているが、どのように活用していくのか。私は、ITのプロ、市民ファーストの考え方、職員の意識改革ができる人が必要だと思っている。

A 副市長 11名の応募があり、第一次合格6名である。木津川市のスマート化や自治体デジタル・トランスフォーメーションに尽力される方を採用したいと思っている。

A 市長 本市も2月にスマート化宣言をした、3つの戦略、市民サービス、稼ぐ地域づくり、行政事務のスマート化を実現するために、CIO補佐官を募集した。将来的に、市役所に来なくてもあらゆる手続きができるようにしていきたい。

質問 2 公共施設等総合管理計画の個別施設計画を問う

Q 森本隆 旧木津、旧山城学校給食センターの跡地利用は。旧木津センターの跡地

は、地元兜台、相楽台の望んでいる福祉施設介護施設等を誘致すべきではないか。

A 総務部次長 更地にした上で、売却に向け、建物解体工事の設計を行っている。旧山城学校給食センターは活用検討の課題整理中。旧木津センターの跡地は今のところ企業誘致用地として考えているが、他の検討も必要と考えている。

Q 森本隆 学校施設の長寿命化計画では、統合、廃止の内容がない。統合、廃止に向けたプロセスは。課題の8校とは。

A 教育部長 相楽台小、加茂小、恭仁小、南加茂台小、上粕小、棚倉小、泉川中、山城中が適正な規模、配置検討に該当。学校の統廃合については、行政サイドと地域の方々や保護者、学識経験者で構成する組織を立ち上げたいと思っている。

Q 森本隆 幼児教育無償化により市内3園の公立幼稚園のニーズが減っていると思うが、応募状況は。応募が少なければ、市内3園を2園にする必要があると思うが。

A 教育部次長 昨年度156名に対して113名の43人減(27.5%減)、特に高の原幼稚園は、募集85人に対して19人22%の応募。今後、幼稚園のことも園化も含めて考えていく必要がある。

Q 森本隆 公共施設の約半分が学校施設であるので、学校施設のニーズが減れば、学校施設を減らして、他の施設への転用も必要だと思ふ。実態に合わせて検討してほしい。



定員の22%の応募者となった高の原幼稚園



地元が望む施設の誘致を(旧木津学校給食センター跡地)

編集後記

相楽中部消防組合の議員として、10月に奈良市と共同購入、共同運営している約2億円のはしご車に試乗させて頂きました。今後の消防体制の広域化を進めていく素晴らしい取り組みだと思っています。今後、救急車出動にも広げていけるようにしたいと思います。



森本隆 [もりもと たかし] プロフィール

無所属 れいわの会所属

1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住 大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業 元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]/議会運営委員会 委員長(2019年~)

主な活動履歴 ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)

●東日本大震災「はじめの一歩コンサート」を主催 (2011年から5回実施:於 高の原)

HP開設中

[家族] 妻と一男一女 [趣味] 写真撮影、旅行、ゴルフ

http://takashi-supportclub.jimdo.com/

morimoto077473@clock.ocn.ne.jp

